

緑化だより

No.221

令和 7年11月号



ホコリタケ

- 季節の花(まめ(ヤブマメ))
- 水生昆虫の話 (コシボソヤンマ)
- 小さな世界こけ(ハネゴケ)

- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

広島県立大学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>



広島県
緑化センター
二次元コード

季節の花

まめ(ヤブマメ)

道の辺(へ)の 荊(うすら)の末(うれ)に 這(は)ほ豆(まめ)の
からまる君(きみ)を 別(は)かれか行(ゆ)かむ
丈部鳥(はせつかべのとり) 万葉集 巻 20-4352

これを訳しますと

(道ばたの野いばらの木の先に 豆のつるが伸びてからみつように、
悲しみが極まり しがみついて離れずにいる妻を残して
別れていかねければならないのか。)

天平勝宝 7 年(755 年) ^{かずさ}上総の国(千葉県) ^{さきもり}の防人としていく自分が妻との別れを惜しんで嘆いて、詠んだ歌です。

ヤブマメはマメ科の蔓性植物で 1 年草です。

別名は^{ぎんまめ}銀豆、アハ豆(アイヌ語)です。日本全土の林の縁に多く、葉は長さ 3~6 cm の卵形で、3 小葉で両面に伏毛があります。花は夏から秋にかけて咲き、長さ約 1.5 cm ぐらいの青紫色の蝶形花です。地上に咲く花と地下茎につく閉鎖花(へいさか)があります。地上の豆の種子は 2~5 個入っており扁平で黒い斑点があります。地下茎の種子は円形で丸く膨らんだ大きな種子が 1 個入っています。

地下茎の種子は地上の種より大きく食用になります。ビタミン、ミネラルが豊富で、冬を越すと甘みがあります。

ヤブマメはやっかいな畑の雑草で草取りは大変です。地下茎に豆を実らせないためには根気強く駆除する必要があります。(上村)



ヤブマメ

水生昆虫の話

コシボソヤンマ

近年、地球温暖化の影響なのか春と秋が短くなったように感じられます。落ち葉が川に落ちると、その落ち葉が川の中の水生生物たちの大切な隠れ家となり、またご馳走にもなる。そんな自然の営みに心を寄せてみると、秋の落ち葉もまた愛おしくも思えてくるのではないのでしょうか。

さて、今回も 8 月に開催した緑化センターの「水生昆虫を探そう」のイベントでとても小さな個体を見つけたヤゴで、9 月号でご紹介したミルンヤンマのヤゴと一見すると同じヤゴに見えるけど、ちょっと違う「コシボソヤンマ」のヤゴについてご紹介します。

コシボソヤンマ(トンボ目ヤンマ科)は、コシボソヤンマ属で日本にはこの一種が生息しています。その名の通りで成虫は腹部の第3節がキュッとかなり細くくびれているのが特徴の大型のヤンマで、北海道から九州、種子島や屋久島などの離島まで広く分布していますが、地域によっては絶滅危惧種に指定されているところもあります。



コシボソヤンマのヤゴ

生息環境は、平地や丘陵地、山間部の樹林が近くにあり木陰の多い流れのある川で、ヤゴは礫と砂泥が混じるような流れの比較的緩やかな場所で川のほとりに生えている植物があるような場所で、流木や水草、水生(抽水)植物の根際などにつかまって生活しています。

ヤゴの期間は1年半から2年程度で、卵の期間が7～8か月と長く、一年目は卵、二年目はヤゴの状態で越冬するそうです。

終齢幼虫の体長は40 mm前後。黒褐色の大きなヤゴで、後頭角に角状の突起が横に突き出していて、腹部第4節以降にははっきりした棘があります。

ちなみに写真のヤゴは亜終齢で約35 mm。

このヤゴの最大の特徴は、捕まえると写真のように、まるでシャチホコのように体を反らしてキュッと固まり、そのまま動かなくなってしまういわゆる擬死状態になります。この状態のまま川の中をコロコロと転がって敵から逃げるんだそう。ちなみに見た目がよく似ているミルシヤンマのヤゴも、捕まえると直後はキュッと固くなりますが、こんなに反り返ることもなく、すぐに動き出すので、見分けることができます。



ミルシヤンマの擬死状態

緑化センターの小川には、どちらのヤゴも生息していますので、もし見つけたらそんな違いを観察してみると面白いのでお勧めです。(西村)

小さな世界 こけ

ハネゴケ

日本にはハネゴケ科ハネゴケ属は25種類あります。ハネゴケ属の特徴は茎の下面に複葉がないことです。

広島県緑化センター内ではマルシハネゴケとコハネゴケの2種類があります。

どちらのこけも雌雄異株で、湿り気の多い土の上や水のしたたる岩壁に、垂れ下がるように生育します。

マルシハネゴケは、緑色～緑褐色で、茎の長さは3～5 cm、葉の大きさは2～3 mmで葉と葉の間はやや離れ、互生してつきます。

葉の形は卵形で背縁は著しく外側に曲がり葉先には細かい鋸歯があります。

コハネゴケは、光沢のある黄緑色で茎の長さは2～4 cm。葉は瓦状に重なってつき、大きさは1.5～2 mmの卵形です。背縁は全縁、腹縁には長く不規則な鋸歯があります。

雄苞葉は、変形した枝に重なり合ってつき、それぞれの苞葉内に1つの造精器があります。(山根)



マルシハネゴケ



コハネゴケの雄苞葉



コハネゴケ

緑化研修会

- | | |
|---|---|
| ○ 11月 1日(土)『11月の植物観察会』
散策路を歩きながら植物を観察します
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 管理事務所前 集合
講師：緑花文化士
横山 直江 |
| ○ 11月 3日(月・祝)『自由工作塾』
自然の素材で自由に工作
※自由参加(随時受付)、材料費 1作品 100円 | 10:00～15:00 イベント会場 集合
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 11月 3日(月・祝)『ネイチャーゲーム』
さまざまな自然の遊びを体験しましょう
※自由参加(随時受付)、無料 | 10:00～15:00 イベント会場 集合
講師：広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○ 11月 6日(木)『松の手入れ(秋)』
秋の手入れについて学び、屋外で実習します
※要予約(先着15名)、無料、剪定鋏、手のこ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：NPO法人樹木匠ひろしま
工藤 徹 |
| ○ 11月 13日(木)『秋の写真教室～秋を写そう～』
散策路を歩きながら撮影について学びます
※要予約(先着15名)、無料、カメラ持参 | 10:00～12:00 管理事務所前 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭 |
| ○ 11月 23日(日・祝)『剪定基本マスター講座』
剪定の基本を学び、屋外で実習します
※要予約(先着15名)、剪定鋏、手のこ持参、見学不可 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：樹木医
難波 正孝 |
| ○ 11月 24日(月・振)『藤ヶ丸トレッキング』
距離約2kmに挑戦します。やや健脚向き
※要予約(先着15名)、無料、軽食・雨具持参、雨天中止 | 10:00～12:00 第5駐車場 集合
講師：緑化センター職員 |
| ○ 12月 6日(土)『クリスマスリース作り』
リースの話とリース作り
※要予約(先着30名)、材料費 800円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：森林インストラクター
長井 稔 |

♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

学習展示館は工事のため、ご利用の方にはしばらくの間ご不便をおかけします。

・ひろしま遊学の森

スタンプラリー2025 秋 ～11月24日(月・振休)

県緑化センターと市森林公園でスタンプを集めてプレゼントゲット！

・もみじ祭り 2025 ～11月16日(日)

期間中もみじクイズラリーでプレゼントゲット！

もみじ祭りお楽しみイベント

11月3日(月・祝)10:00～15:00

場所：管理事務所駐車場・苗畑

もみじクイズラリー、ノルディックウォーク、自由工作塾、草花販売、キッチンカーなど



◎展示会

場所：レストハウス (ボード展示)

・第18回 ひろしま遊学の森

こども写生大会 作品展 11月21日(金)～12月14日(日)